

# 経済動向調査報告書

〔 平成29年4月～6月期実績  
平成29年7月～9月期予測 〕

平成29年 6月  
草津町商工会

## I 調査の目的

この調査は、商工会地区内の小規模企業の経営動向とその特性を継続的に把握し、その分析結果により、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的としている。

なお、本報告書のD・I値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index、景気動向指数）の略であり、増加（上昇・好転・長期化）企業割合から減少（低下・悪化・短期化）企業割合を差し引いた値を示すものである。

D・Iがプラス（+）なら……強気（楽観）

D・Iがマイナス（-）なら……弱気（悲観）

（例）売上高で増加企業 50%、不変企業 30%、減少企業 20%の場合、D・I 指数…… $50\% - 20\% = 30\%$ となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

凡例

D I 値	100.0 ～ 30.1	30.0 ～ 10.1	10.0 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表 示						
内 容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

## 1. 調査内容

地域内各業種の事業所を業種別に抽出し、6月期の業況についてアンケート形式での調査を実施した。回答を得た事業所数は50社であり、地域の小規模事業者の38%に該当数する。業種別の回答事業者数は以下の通り。

業種別回答事業者数

業 種	企業数
製 造	5
建 設	5
小 売	9
サービ	15
宿 泊	11
卸 売	5
合 計	50

## 2. 調査期間

平成 29 年 4 月～平成 29 年 6 月。

## 3. 調査方法

調査対象企業への商工会経営指導員による聞き取り面談調査。

## 4. 比較分析参照資料

群馬県商工会連合会 第 152 回 中小企業景況調査報告書

（平成 29 年 4 月～6 月期実績 および 平成 29 年 7 月～9 月期予測）

## II 経済動向調査分析

### 1. 群馬県全産業の景況概況と地域経済動向

#### 売上高（完成工事高）にみる各産業DI値（前年同期比）の推移

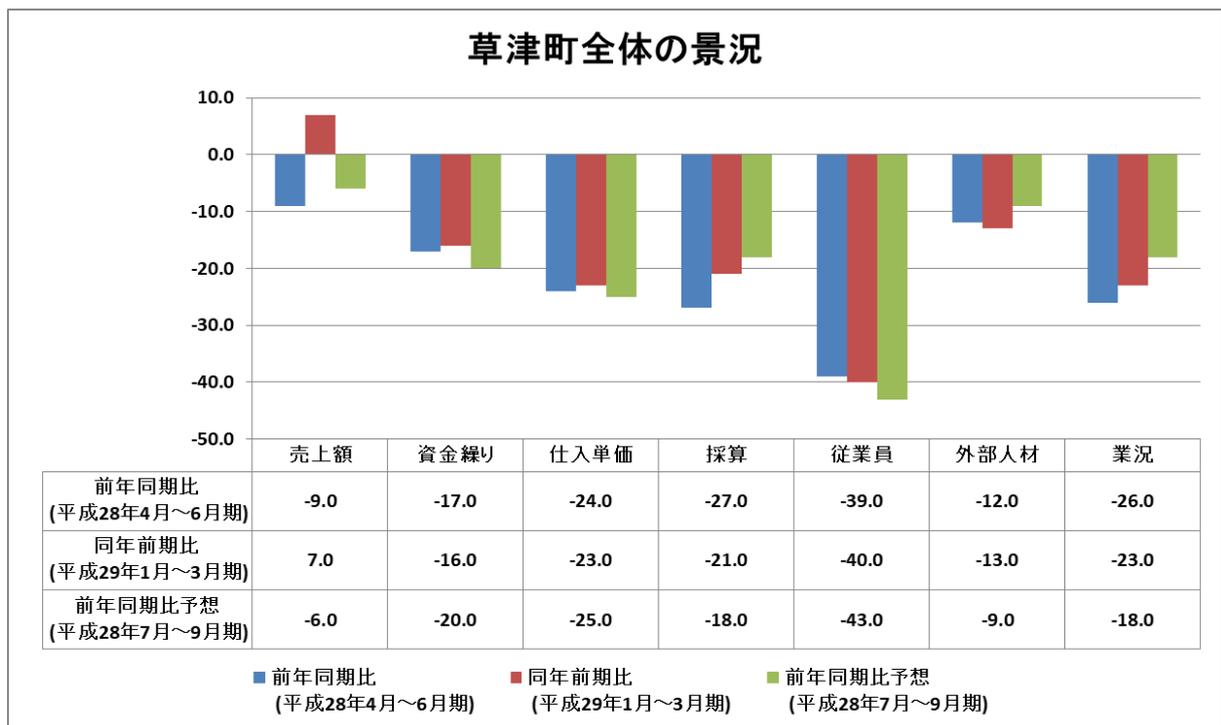
年月 業種	平成27年度				平成28年度			平成29年度		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月 見込
製造業										
建設業										
小売業										
サービス業										

今期（平成29年4月～6月期）の各産業売上高（完成工事高）DI値に見る業況判断は、製造業：0.0→▲12.1、建設業：▲48.2→▲11.5、小売業：▲28.9→▲8.1、サービス業：▲22.2→▲7.6となった。建設業・小売業・サービス業は上昇がみられたが、製造業についてはやや下降となった。

また、業種別の景況判断では、製造業・建設業が「曇」、小売業・サービス業が「薄曇」判断であった。

来期（平成29年7月～9月期）予想では、製造業：▲3.2→9.1、建設業：▲15.4→▲15.4、小売業：▲29.7→▲10.5、サービス業：▲24.1→▲1.8であり、製造業は上昇、建設業は横ばい、小売業、サービス業は若干の上昇が予想される。

### 2. 草津地域内の景況（全業種）

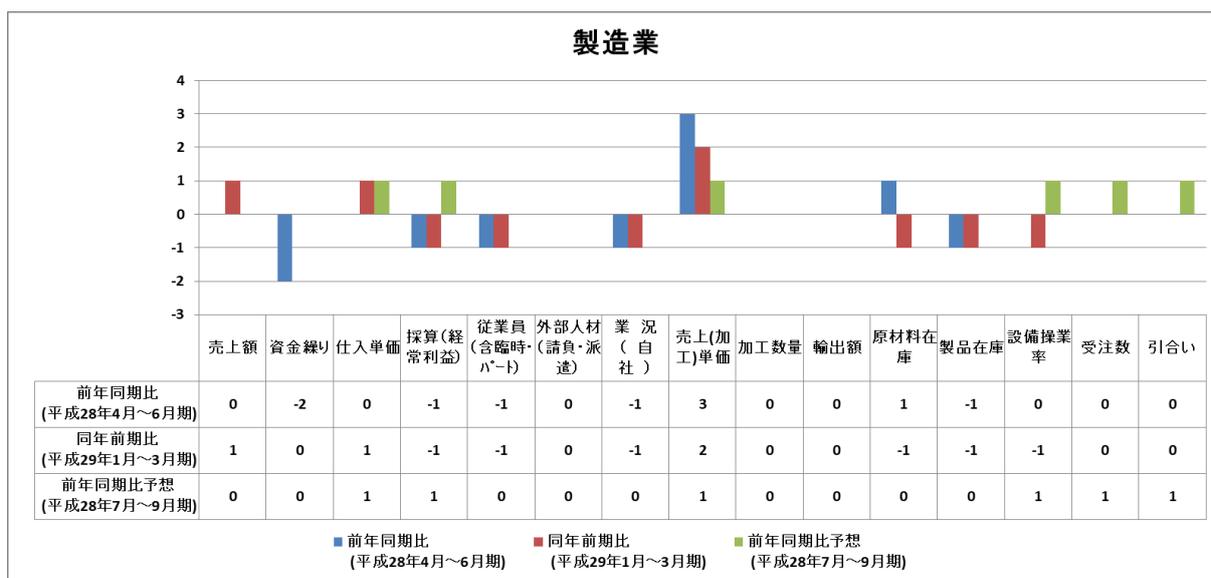


群馬県全産業のデータでは、今期の各産業売上高に見る業況判断は、製造業がやや下降となったが、建設業・小売業・サービス業についてはおおむね上昇しており、改善がみられた。県データと比較し、草津地域全体の業況は、前年同期比▲26ポイントと悪化している。

群馬県全産業の来期予想は、製造業は上昇、建設業は横ばい、小売業、サービス業は若干の上昇が予想される。県データと比較し、草津地域全体の来期見込みは、マイナス領域ながら、小幅の改善を見込んでいるが、「従業員」「仕入単価」「資金繰り」など個別の項目の悪化が懸念されるなど厳しい状況が見込まれる。

### 3. 草津地域内の業種別景況

#### ① 製造業



前年同期と比較し「売上（加工）単価」と「原材料在庫」が上昇し、「資金繰り」「採算」「従業員」「業況」「製品在庫」が悪化している。来期予想では「仕入単価」の上昇が予想されるが、「売上（加工）単価」の低下をはじめ「採算」「売上（加工）単価」「設備操業率」「受注数」「引合い」ともに改善を見込んでいる。

#### 県データとの比較

##### 1) 業況（前年同期比）

今期の県・業況DI値は前期0.0に比べ下降。来期見通しは上昇の見込みだが、草津地域の今期は悪化、来期見通しはわずかに改善を見込んでいる。

##### 2) 売上(加工)額（前年同期比）

今期の県・売上（加工）額DI値は前期から下降。来期見通しは、上昇する見込みだが、草津地域では、今期・来期見通しともに横ばいとなっている。

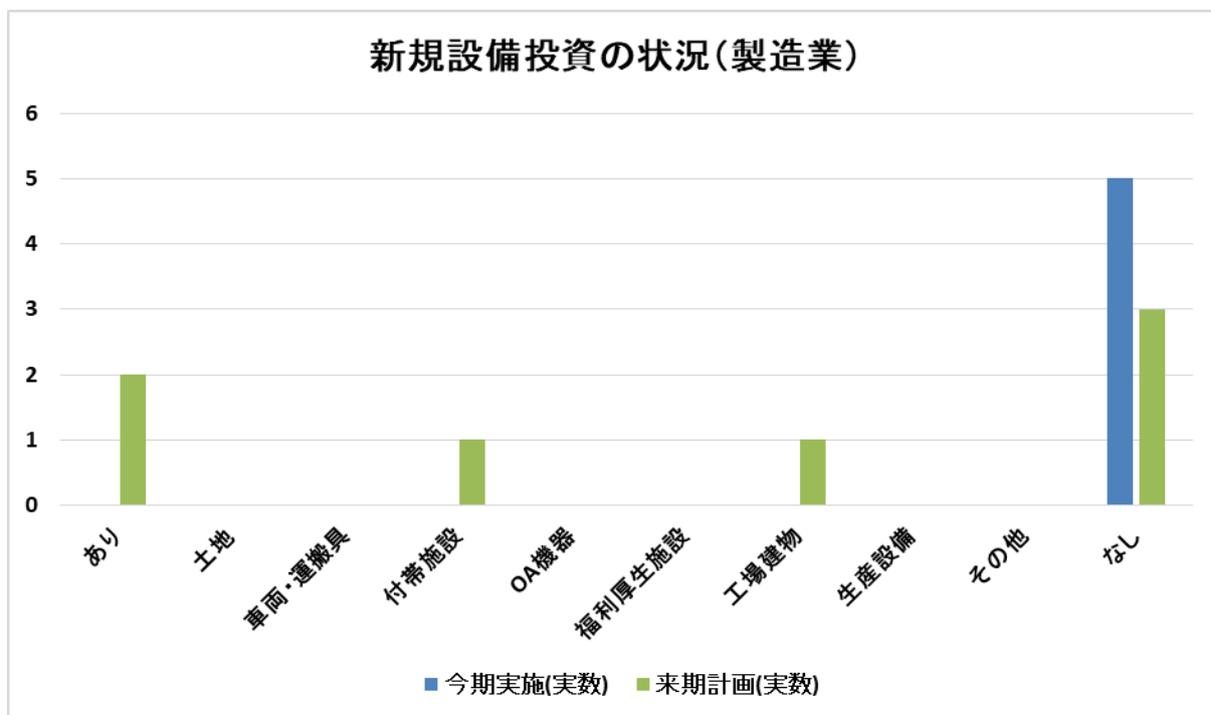
##### 3) 採算（前年同期比）

今期の県・採算（経常利益）DI値は前期から下降。来期見通しはやや上昇の見込みだが、草津地域では、今期悪化、来期見通しはマイナス領域からプラス領域へ大幅な上昇を見込んでいる。

#### 4) 資金繰り（前年同期比）

今期の県・資金繰りDI値は0.0で前期から悪化。来期は改善の見込みだが、草津地域では、今期悪化、来期見通しは上昇を見込んでいる。

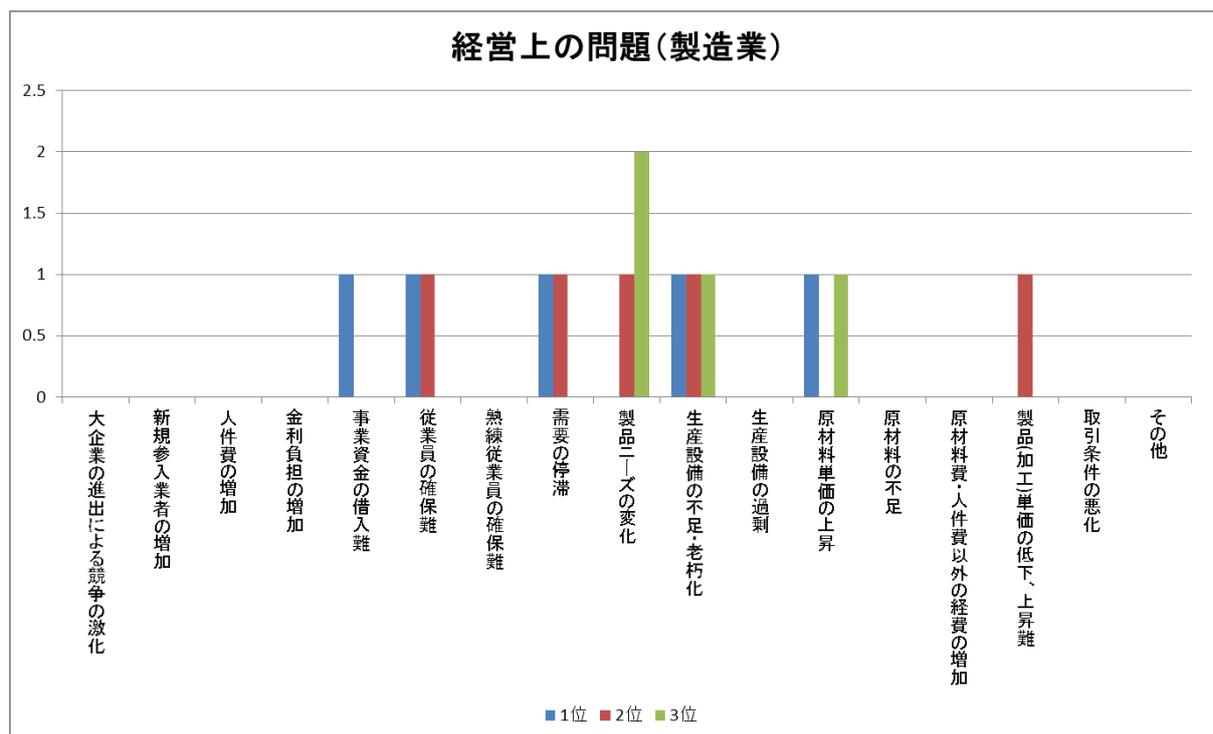
#### 5) 新規設備投資の状況



今期設備投資を実施した企業はなかったが、来期は2社が実施を予定している。内容は「付帯施設」と「工場建物」となっている。

県の製造業データでは、今期の設備投資実施企業は7社で、回答企業の21.2%となっている。来期も6社設備投資を予定しており業況改善に向け積極的な設備投資を行っている。県のデータと比較すると、草津地域も来期の業況改善に向け、設備投資企業が2社見込まれている。

## 6) 経営上の問題点

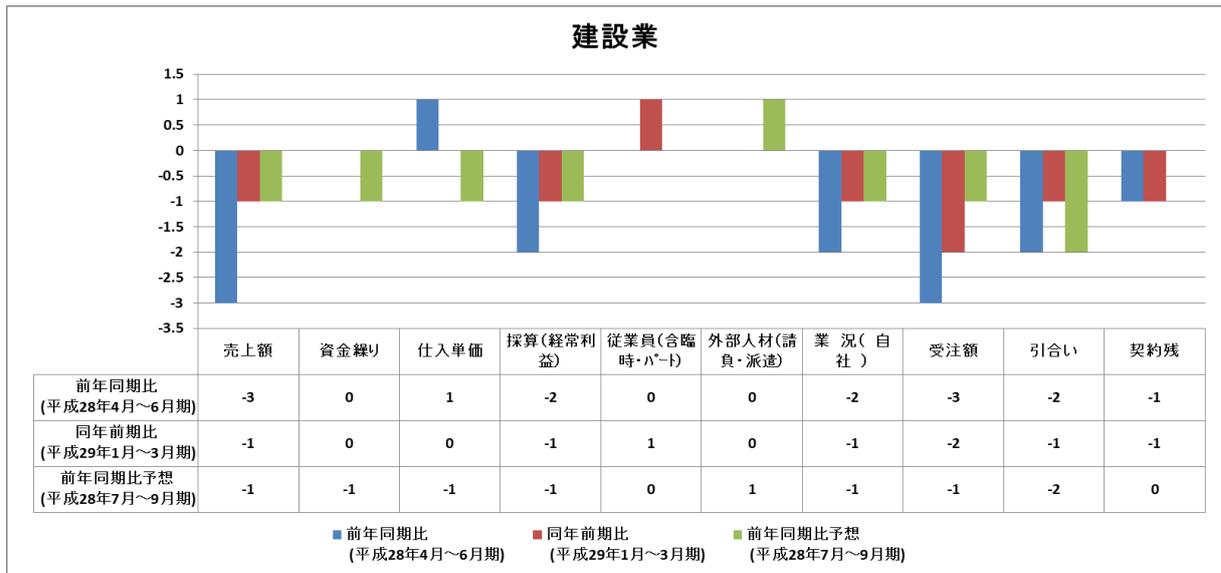


経営上の問題点の1~2位は、「事業資金の借入難」、「従業員の確保難」、「需要の停滞」、「生産設備の不足・老朽化」、「原材料単価の上昇」「製品(加工)単価の低下・上昇難」に各1社(回答企業の20%)の企業があげており、個々に感じる問題点が違うことがうかがえる。

1~3位までを総合的に見ると「生産設備の不足・老朽化」と「製品ニーズの変化」に各3社が問題点としてあげている。

県の製造業データでは、「従業員の確保難」「需要の停滞」が最も多く、次いで「熟練技術者の確保難」となっている。県のデータと比較すると、草津地域では「生産設備の不足・老朽化」と「製品ニーズの変化」への対応が課題であることがうかがえる。

## ② 建設業



前年同期と比較し、「仕入単価」の改善がみられるが「受注額」「引合い」「契約残」の減少により、「売上額」「採算」ともに大幅なマイナスとなった。

来期に向け「仕入単価」の悪化が見込まれるが「受注額」「売上額」「採算」「業況」については、マイナス領域ながら改善を見込んでいる。

### 県データとの比較

#### 1) 業況（前年同期比）

今期の県・業況D I 値は前期から上昇。来期見通しは、さらに上昇の見込みだが、草津地域では、今期悪化、来期見通しは、マイナス領域ながら改善を見込んでいる。

#### 2) 完成工事額（前年同期比）

今期の県・完成工事額D I 値は前期から大幅な上昇。来期見通しはやや下降の見込み。草津地域では、今期大幅に悪化したが、来期見通しはマイナス領域ながら改善が見込まれる。

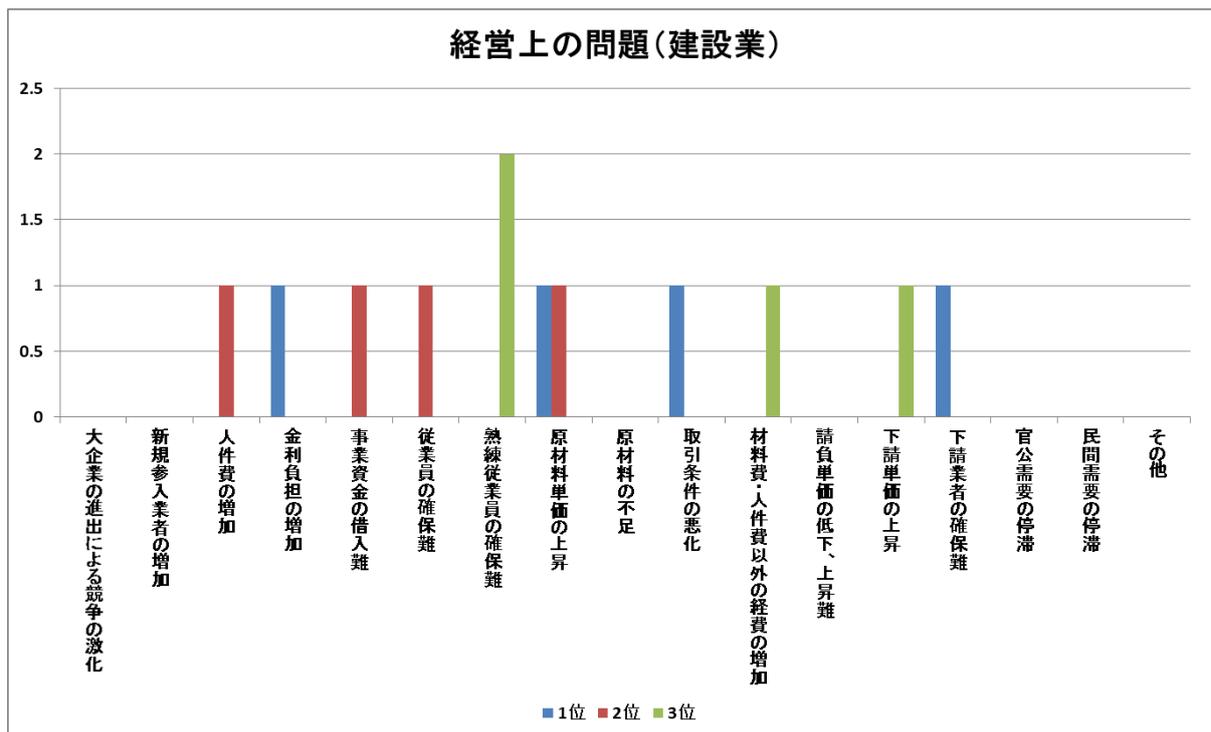
#### 3) 採算（前年同期比）

今期の県・採算D I 値は、前期から大幅に上昇。来期見通しは、やや下降する見込みだが、草津地域は、今期悪化、来期見通しはマイナス領域ながら若干の改善が見込まれる。

#### 4) 資金繰り（前年同期比）

今期の県・資金繰りD I 値は前期から大幅に改善。来期見通しは、さらに改善される見込みだが、草津地域では、今期横ばい、来期は悪化が見込まれる。

5) 新規設備投資の状況

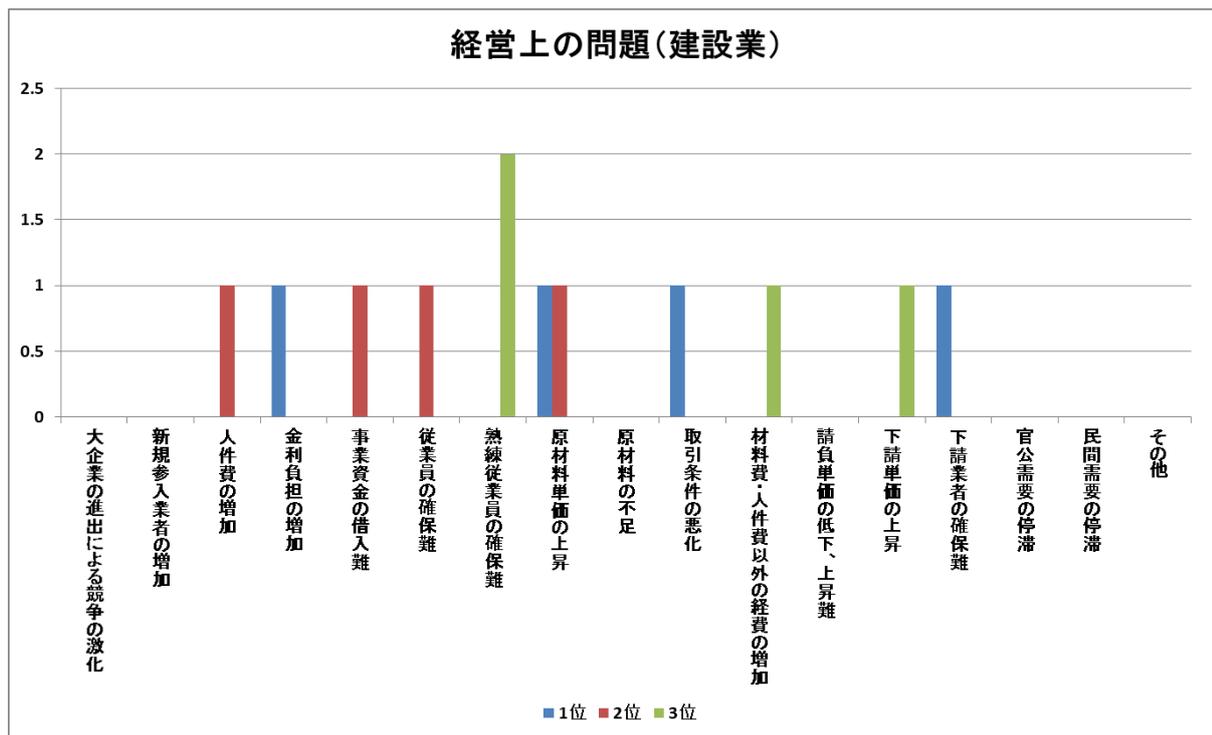


今期の設備投資を実施した企業はなかったが、来期は2社（回答企業の40%）が実施を予定している。内容は2社ともに「車両・運搬具」となっている。

県の建設業データでは、今期設備投資を実施した企業は4社で、回答企業の15.4%となっている。来期も業況の改善見込みを受けてか今期と同レベルの設備投資が見込まれる。

県のデータと比較すると、草津地域も来期の「業況」「受注額」の改善見込みに向け、設備投資を見込んでいるとかがえる。

## 6) 経営上の問題点

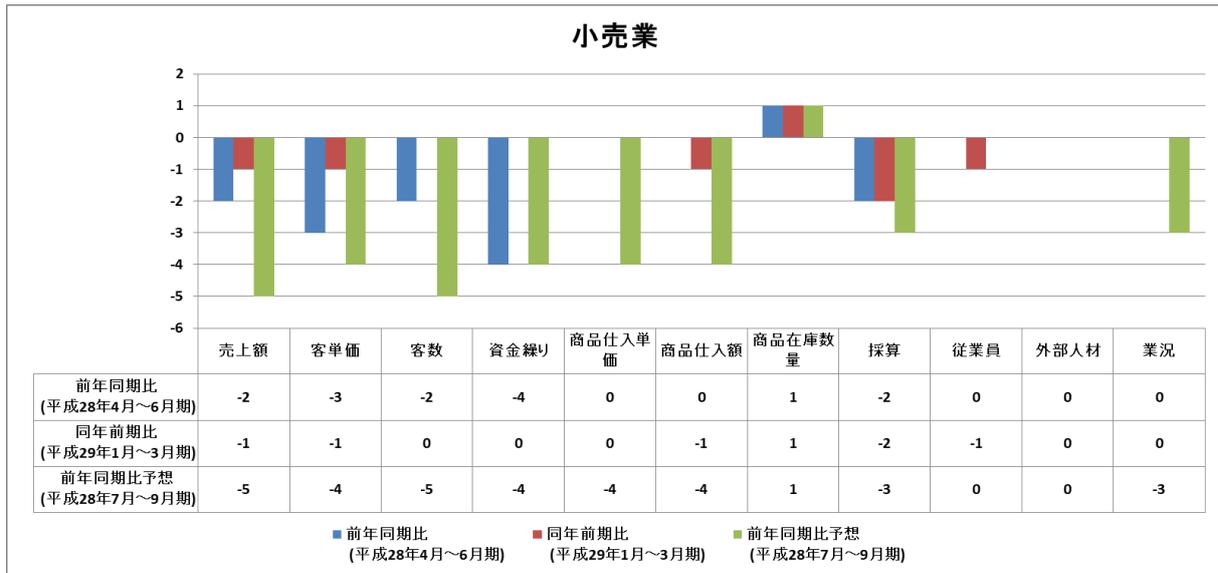


経営上の問題点の1~2位は、「人件費の増加」「金利負担の増加」「原材料単価の上昇」「取引条件の悪化」、「下請業者の確保難」などに各1社（回答企業の20%）があげており、問題点が個々に違うことをうかがえる。

1~3位までを総合的に見ると「原材料単価の上昇」と「熟練従業員の確保難」に各2社が問題点としてあげている。

県の建設業データでは、「民間需要の停滞」が最も多く、次いで「熟練技術者の確保難」となっている。県のデータと比較すると、草津地域では「原材料単価の上昇」と県同様「熟練従業員の確保難」への対応が課題であることがうかがえる。

### ③ 小売業



前年同期と比較し「売上額」「客単価」「客数」「資金繰り」「業況」「採算」ともに悪化している。来期予想も全体的に厳しい業況見込みとなっており、特に「売上額」「客数」「仕入単価・仕入額」は大幅な悪化見込みとなっている。

#### 県データとの比較

##### 1) 業況（前年同期比）

今期の県・業況D I 値は大幅に上昇。来期見通しは、さらに上昇の見込みだが、草津地域では、今期ゼロの横ばい、来期見通しは大幅な悪化を見込んでいる。

##### 2) 売上額（前年同期比）

今期の県・売上額D I 値は前期から大幅上昇。来期見通しは、やや下降の見通しだが、草津地域では、今期悪化、来期見通しはさらなる悪化を見込んでいる。

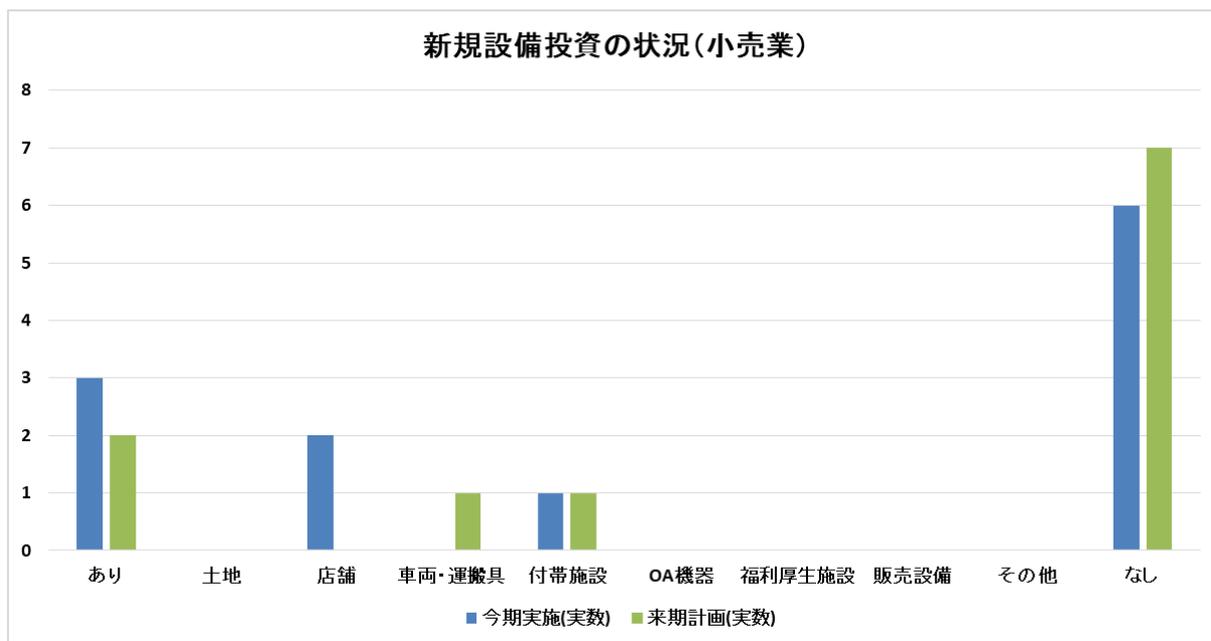
##### 3) 採算（前年同期比）

今期の県・採算D I 値は、前期から 8.5 ポイントの上昇。来期見通しは、さらに上昇の見込みだが、草津地域は今期悪化、来期見通しはさらに悪化を見込んでいる。

##### 4) 資金繰り（前年同期比）

今期の県・資金繰りD I 値は前期から 13.1 ポイント改善。来期見通しは横ばいの見込みだが、草津地域は今期悪化、来期見通しも厳しい状態が続くと予想している。

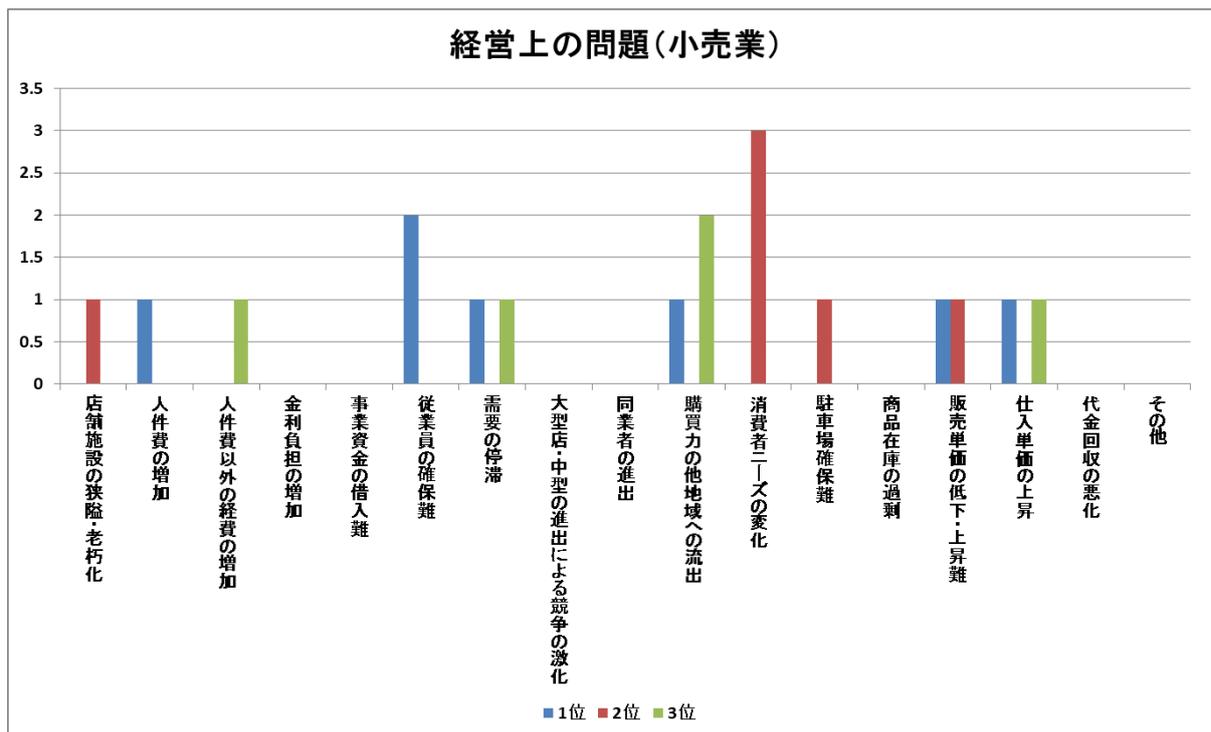
## 5) 新規設備投資の状況



今期の設備投資実施企業は3社で、回答企業の33.3%が実施した。内容は「店舗」が2社(22.2%)、「付帯設備」が1社(11.1%)。来期は2社(22.2%)が設備投資を計画している。内容は「車両・運搬具」1社(11.1%)、「付帯施設」1社(11.1%)となっている。

県の小売業データでは、今期の設備投資実施企業は4社(回答企業の10.5%)で、業況の上昇に対し消極的な実施となっている。県のデータと比較すると、草津地域は業況悪化見込みの中、店舗や付帯施設の投資に積極的に取り組んでいることがわかった。

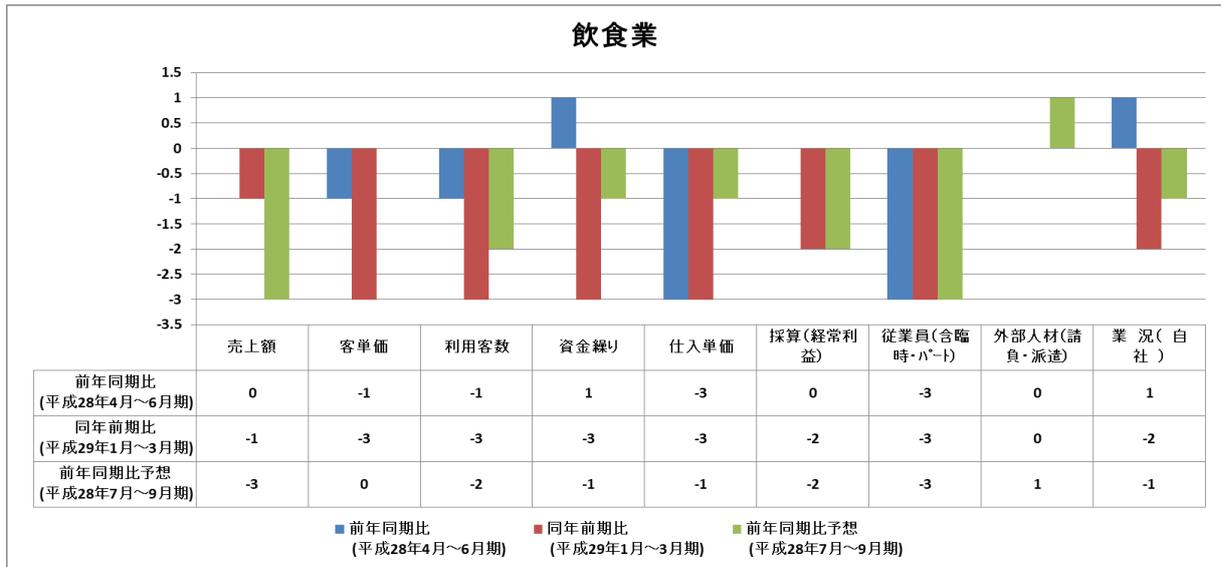
## 6) 経営上の問題点



経営上の問題点の1位に「従業員の確保難」を2社の企業があげているが、「人件費の増加」、「需要の停滞」、「購買力の他地域への流出」、「販売単価の低下・上昇難」、「仕入単価の上昇」については各1社となっており、問題点としての認識が個々に違うことがうかがえる。

県の小売業データでは「利用者ニーズの変化」「需要の停滞」が最も多く、次いで「購買力の他地域への流出」となっている。県データと比較すると草津地域では、「消費者ニーズへの対応」と「購買力の他地域への流出」「人材不足」が問題であることがうかがえる。

④ 飲食業



前年同期と比較し「資金繰り」「業況」とともに好転しているが、「客単価」が▲1ポイント悪化し、「仕入単価」「従業員」については▲3ポイントと大幅に悪化している。来期予想は「外部人材」の上昇と、マイナス領域ながら「仕入単価」の改善が見込まれるが、「業況」「売上額」の大幅な悪化見込みが影響し、「資金繰り」「採算」とともに厳しい状態が見込まれる。

県・「サービス業」データとの比較

1) 業況（前年同期比）

今期の県・業況DI値は前期から大きく上昇。来期見通しはわずかに上昇の見込みだが、草津地域の飲食業は、今期改善、来期見通しはプラス領域からマイナス領域へ大幅な悪化を見込んでいる。

2) 売上（収入）額（前年同期比）

今期の県・売上（収入）額DI値は前期から大幅な上昇。来期見通しはわずかな上昇の見込みだが、草津地域の飲食業は、今期ゼロで横ばいだが、来期見通しは大幅な悪化を見込んでいる。

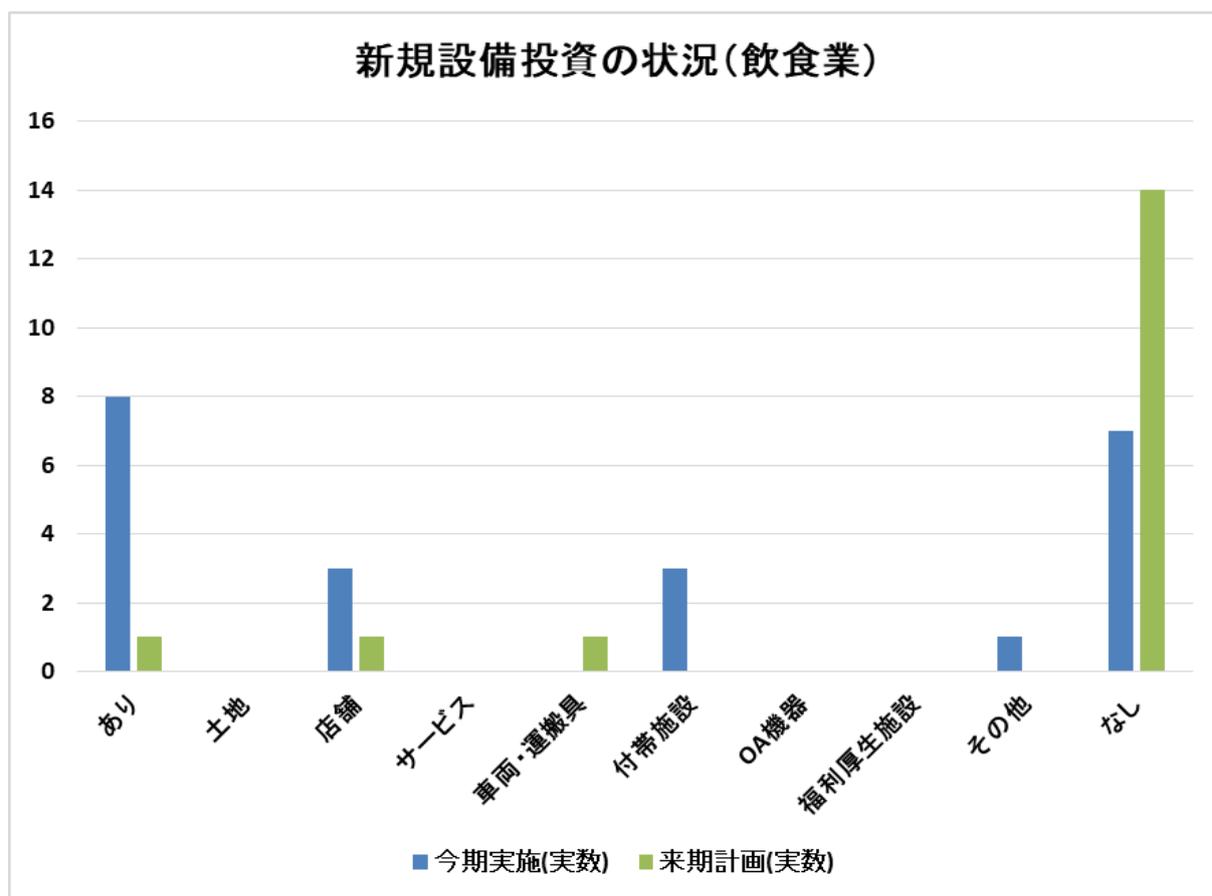
3) 採算（前年同期比）

今期の県・採算DI値は前期から上昇。来期見通しは更に改善の見込みだが、草津地域の飲食業は、今期ゼロで横ばいとなっており、来期見通しは悪化を見込んでいる。

4) 資金繰り（前年同期比）

今期の県・資金繰りDI値は前期からわずかに改善。来期見通しは更に改善が予想されるが、草津地域の飲食業は、今期改善、来期見通しはプラス領域からマイナス領域へ大幅な悪化を見込んでいる。

## 5) 新規設備投資の状況

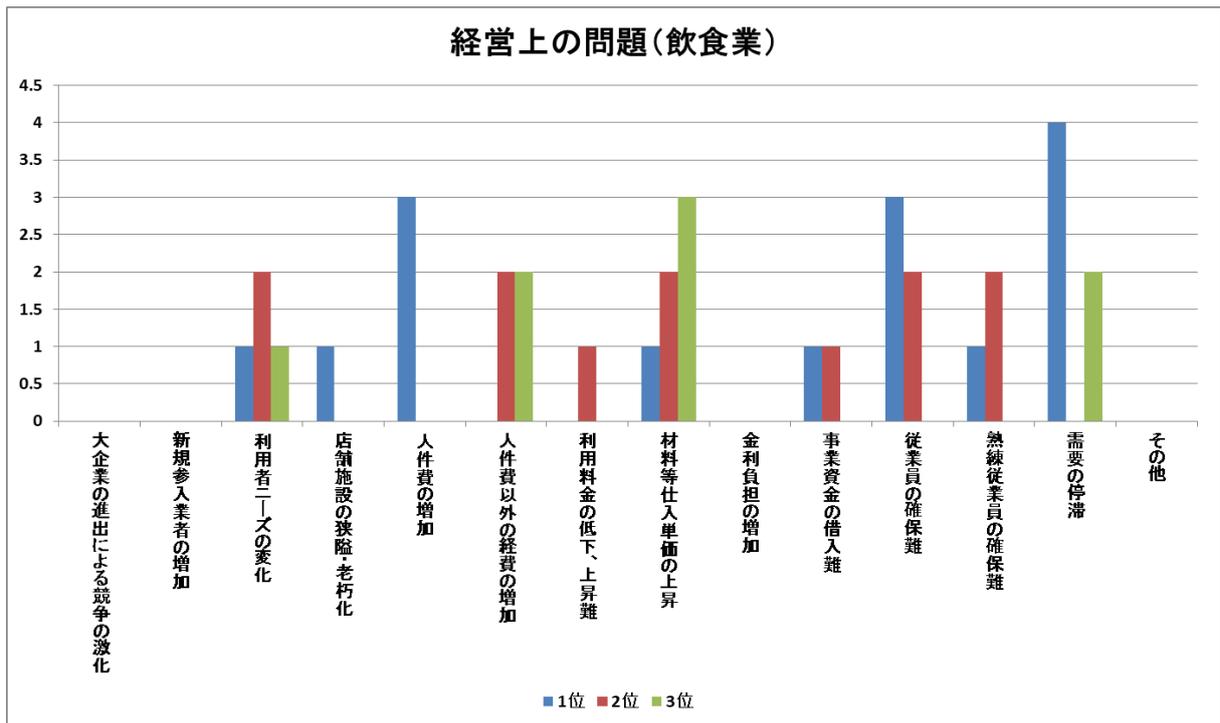


今期の設備投資実施企業は8社で、回答企業の53.3%と高い比率を占めている。実施内容は「店舗」と「付帯施設」「その他」となっている。来期のハイ・シーズンに向けて、設備投資をしていると思われる。

来期は1社（回答企業の6%）が設備投資を計画している。内容は「店舗」と「車両」「運搬具」となっている。

県のサービス業データでは、今期の設備投資実施企業は8社で、回答企業の15.1%となっている。県のデータと比較すると、草津地域は業況悪化見込みの中、店舗や付帯施設の投資に積極的に取り組んでいることがわかった。

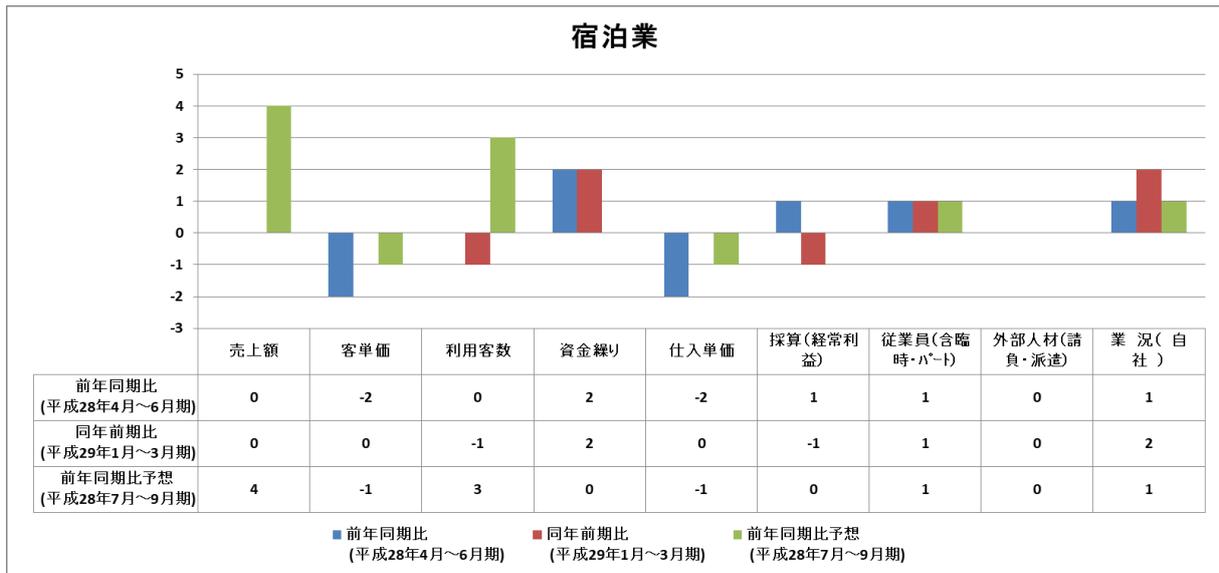
6) 経営上の問題点



経営上の問題点の1位として、4社（回答企業の26.6%）が「需要の停滞」をあげており、次いで3社（回答企業の20%）が「人件費の増大」「従業員の確保難」をあげている。2位には「利用者ニーズの変化」「人件費以外の経費の増加」「材料等仕入単価の上昇」「従業員の確保難」「熟達従業員の確保難」を各2社（13%）あげている。

県のサービス業データでは、「利用者ニーズの変化」「需要の停滞」が最も多く、次いで「店舗施設の狭隘・老朽化」「仕入単価の上昇」となっており、県のデータと比較すると草津地域では「需要の停滞」とともに、「従業員の確保」など人材に関する問題がより深刻であることがうかがえる。

⑤ 宿泊業



前年同期と比較し、客単価と仕入単価は悪化しているが「資金繰り」「採算」「従業員」「業況」とともに改善している。行楽シーズンを迎える来期に向けては、「売上額」「利用客数」の大幅な上昇を見込んでおり、「客単価」「仕入単価」ともにマイナス領域ながら小幅の改善を見込んでいる。

県・「サービス業」データとの比較

1) 業況（前年同期比）

今期の県・業況D I 値は前期から大きく上昇。来期見通しはわずかに上昇の見込みだが、草津地域の宿泊業は、今期改善、来期見通しも改善を見込んでいる。

2) 売上（収入）額（前年同期比）

今期の県・売上（収入）額D I 値は前期から大幅な上昇。来期見通しはわずかな上昇の見込みだが、草津地域の宿泊業は、前期ゼロで横ばいだが、来期見通しは大幅な上昇が見込まれる。

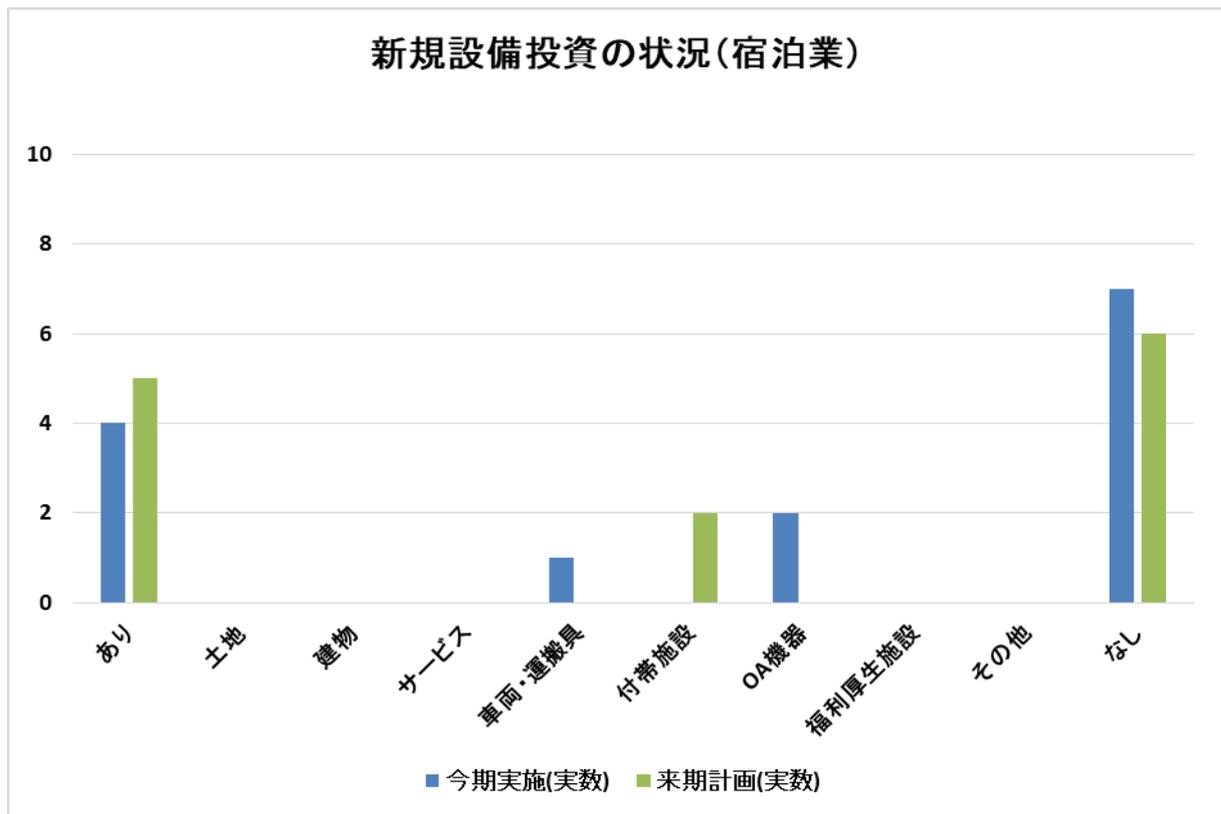
3) 採算（前年同期比）

今期の県・採算D I 値は前期から上昇。来期見通しは更に改善の見込みだが、草津地域の宿泊業は、今期改善、来期見通しゼロで悪化を見込んでいる。

4) 資金繰り（前年同期比）

今期の県・資金繰りD I 値は前期からわずかに改善。来期見通しは更に改善が予想されるが、草津地域の宿泊業は、今期上昇、来期見通しはゼロで悪化を見込んでいる。

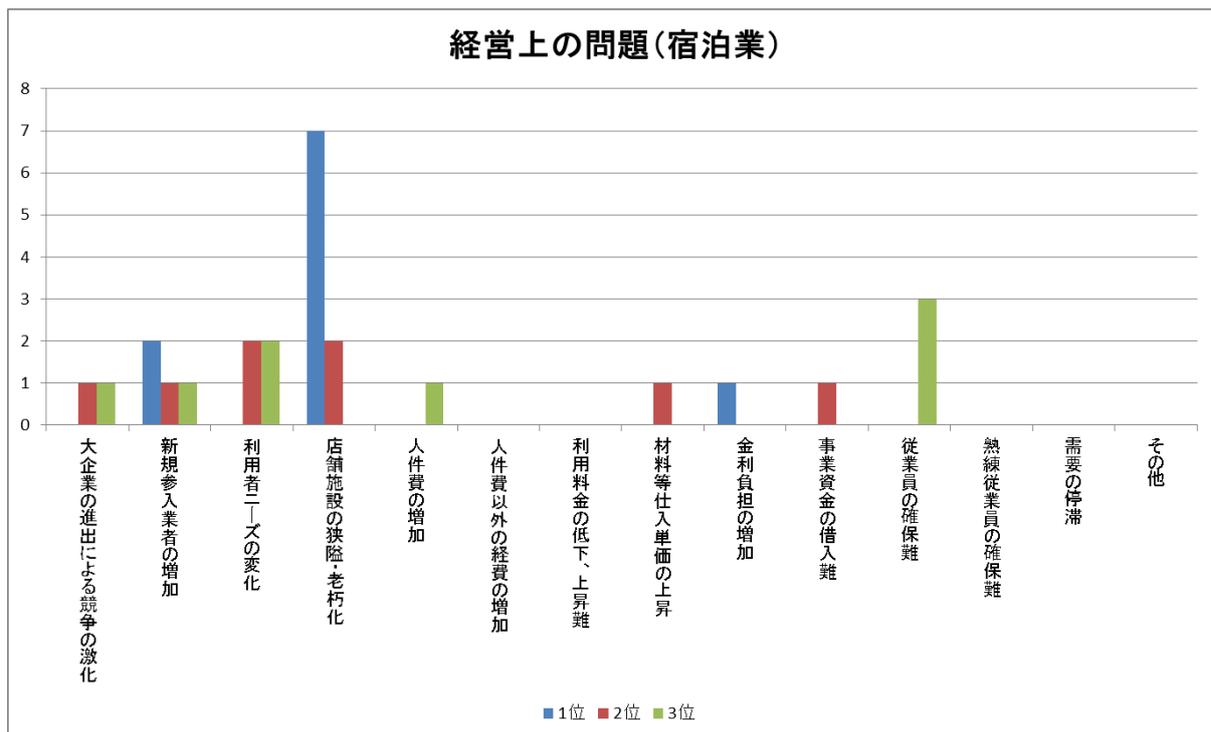
5) 新規設備投資の状況



今期の設備投資実施企業は4社で、回答企業の36.3%が実施した。内容は「車両・運搬具」が1社、「OA機器」が2社となっている。来期は5社（45.4%）が設備投資を計画している。

県のサービス業データでは、今期設備投資を実施した企業は8社で、回答企業の15.1%となっている。県のデータと比較すると、草津地域は「業況」と「資金繰り」の改善見込にともない、積極的な設備投資を計画している。

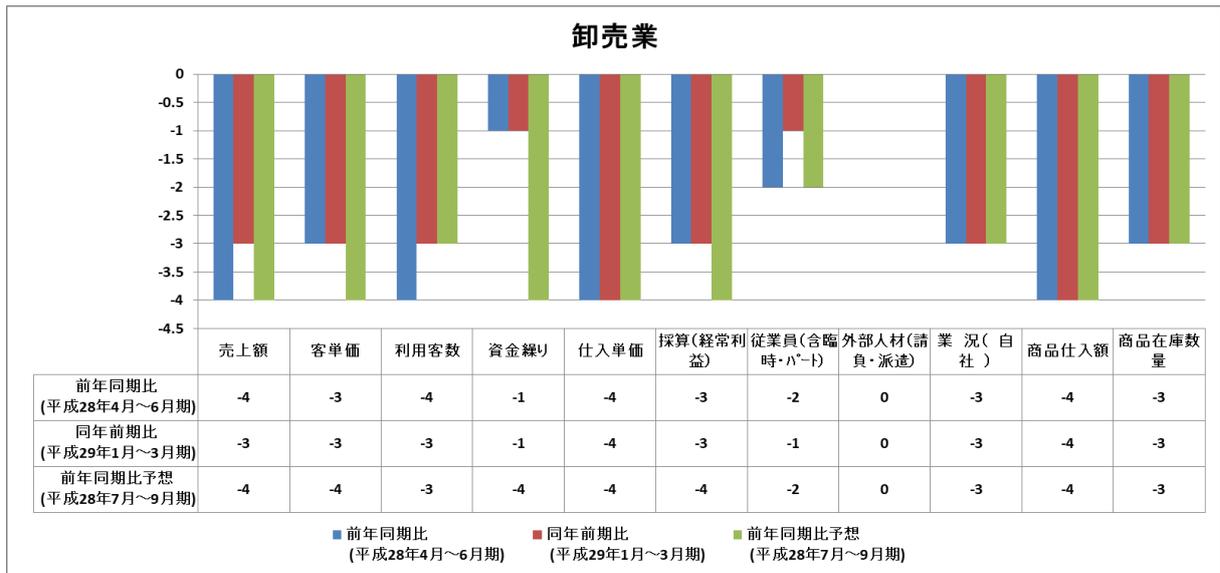
## 6) 経営上の問題点



経営上の問題点の1位に「店舗施設の狭隘・老朽化」を回答企業の63.6%にあたる7社があげている。次いで、1～3位を総合で見ると「新規参入業者の増加」や「利用者ニーズの変化」「従業員の確保難」となった。

県のサービス業データでは、「利用者ニーズの変化」「需要の停滞」が最も多く、次いで「店舗施設の狭隘・老朽化」「材料等仕入単価の上昇」となっている。県のデータと比較すると、草津地域では特に「店舗施設の狭隘・老朽化」が深刻な状況であることがうかがえる。また「新規参入業者の増加」とともに「利用者ニーズの変化」への対応が課題であることがうかがえる。

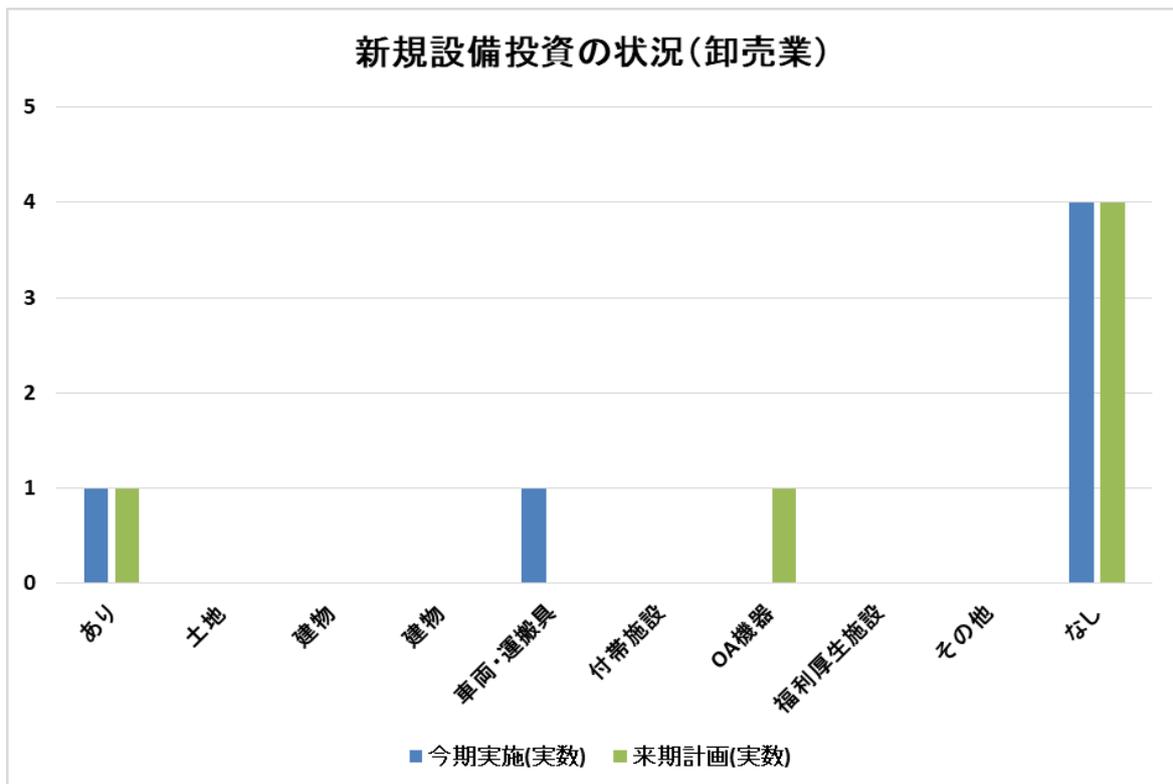
⑥ 卸売業



前値同期と比較し、卸売業全般の業況はかなり厳しい状態である。来期見込みでは「利用客」にわずかな改善が期待されているが、「客単価」「資金繰り」「採算」「従業員」については、さらに厳しい状況になると見込まれている。

県の卸売業データは無いため比較はなし。

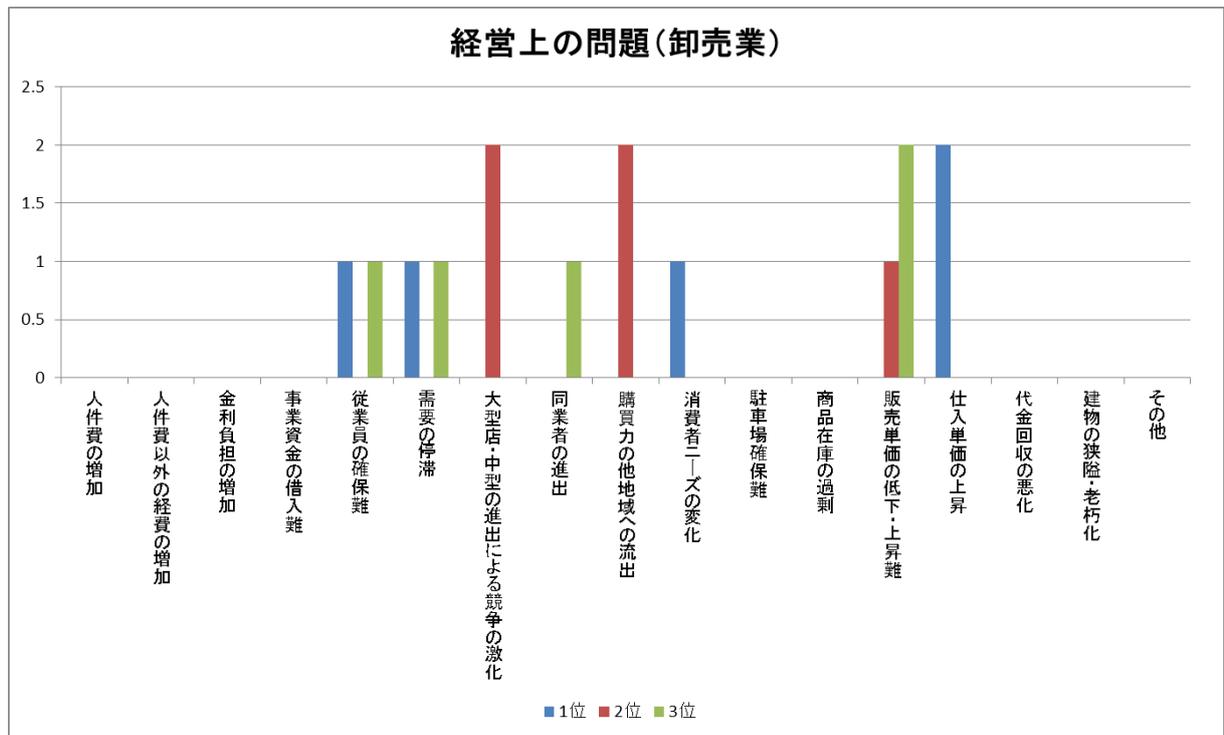
1) 新規設備投資の状況



今期の設備投資実施企業は1社で、回答企業の20%となっている。実施内容は「車両・運搬具」。来期も1社が「OA機器」の設備投資を計画している。

県の卸売業データは無いため比較はなし。

2) 経営上の問題点



経営上の問題点の1位として、2社（回答企業の40%）が「仕入単価の上昇」をあげており、次いで2位に「大型店・中型店の進出による競争の激化」「購買力の他地域への流出」を各2社があげている。

1～3位を総合的に見ると「販売単価の低下・上昇難」を3社があげており、仕入価格の増額分を販売価格に転嫁できていない点が問題であることがうかがえる。

県の卸売業データは無いため比較はなし。